

医療観察法における本省と地方厚生局の役割分担

- 本省と地方厚生局の役割分担については、中央省庁等改革基本法等において、「企画部門と実施部門との分離」の原則が謳われているところ。
- また、法律に規定された厚生労働大臣の権限は、省令で定めるところにより、地方厚生(支)局長に委任することができることとされている。

主な事務	役割分担(案)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 指定医療機関関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定医療機関の指定、指定取消し 他 	<ul style="list-style-type: none"> → 地方厚生局が実施
<ul style="list-style-type: none"> ○ 事務執行等関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院(通院)すべき指定医療機関の決定 他 ・ 厚生労働省職員による入院決定の執行 他 	<ul style="list-style-type: none"> → 地方厚生局が実施(ブロックを越えた広域調整の方法については要検討)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門家の名簿の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参与員候補の名簿の作成及び地裁への送付 他 ・ 精神保健判定医の名簿の最高裁への送付 他 	<ul style="list-style-type: none"> → 地方厚生局が実施
<ul style="list-style-type: none"> ○ 処遇改善請求 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障審議会への諮問 他 	<ul style="list-style-type: none"> → 本省が実施(地方厚生局の役割については要検討)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導監査 	<ul style="list-style-type: none"> → 各機関年1回実施。本省、地方厚生局の役割分担については要検討
<ul style="list-style-type: none"> ○ 診療報酬関係 <ul style="list-style-type: none"> ・ 診療報酬請求の審査、額の決定 他 	<ul style="list-style-type: none"> → 本省、地方厚生局の役割分担については要検討